

博物館・歴史資料館だより

第十四回 飛騨・美濃歌舞伎大会

五月三日(祝)に「第十四回 飛騨・美濃歌舞伎大会2006いびがわ」が、西濃地域で初めて開催されました。

飛騨・美濃歌舞伎大会では、「乙原歌舞伎」、「揖斐子供歌舞伎」の二つの歌舞伎が披露されました。

乙原歌舞伎

乙原歌舞伎は安政の頃、四国の薬売りが乙原村(現揖斐川町乙原)に泊まり、夜になると村人を集め、豆人形歌舞伎を見せたのが始まりと伝えられています。

時代や役者などの事情により衰退や復活がありました。乙原歌舞伎保存会を設立し三年に一度、五月三日の祭礼で上演されています。

今年「一谷嫩軍記 熊谷陣屋の段」を公正公民館で上演しました。



揖斐子供歌舞伎

享保期、文化期の祭礼図に、祭りの様子や屋台の舞台が描かれ、現在の芸軸の原型となっています。

「揖斐子供歌舞伎」は明治二十年に上演されたのを機に子供歌舞伎が始まったといわれています。

飛騨・美濃歌舞伎大会では、揖斐祭りにおいて鳳凰軸で演じられる「鎌倉三代記 三浦別れの段」を、下町の子どもたちによって揖斐川町中央公民館で上演しました。



新茶試飲体験のご案内

今年も新茶の季節がやってきました。揖斐川歴史民俗資料館では、新茶の美味しい入れ方など生産者の方に教えていただき、新茶をじっくりと味わっていただきます。

■日時 六月二十五日(日)

午前十時から十二時まで

■場所 揖斐川歴史民俗資料館

実習室

■定員 十名

■参加費 無料

■申し込み

揖斐川歴史民俗

資料館

(2215373)



木工展をご覧下さい

春日森の文化博物館

揖斐川町は緑豊かな森林を有し、きれいな水、澄んだ空気、美しい景色を提供しています。今回はその森林の木を活かして彫り物や、盆や椀などを作っている方々に出品していただきます。

■期日 7月中旬～9月上旬

■場所 春日森の文化博物館

(春日美東 長者の里)

■内容 町内外の方々の木を生かした作品などを展示します。

皆さんご鑑賞にお出かけください。